

TOKYO GEIDAI ART FES

BY AUGMENTED REALITY IN

善通寺

リアルにならないけどあるリアル

善通寺市のマチナカで開催されるリアル&AR展覧会



リアル展示	2021年 11月6日(土)~11月14日(日)	善通寺市観光交流センター (善通寺市善通寺町二丁目8番23号)
AR展示	2021年 11月6日(土)~12月26日(日)	善通寺市内

新型コロナウイルス感染症対策にご協力の上、ご鑑賞くださいますようお願いいたします。

■主催：香川県、東京藝術大学 ■特別協力：香川大学 ■協力：善通寺市
■監修：東京藝術大学美術学部長・教授 日比野克彦





リアルにないけどあるリアル

私たちの日常生活の中に今大きな変化が起こってきています。太陽が東から昇り、西に沈み、夜空になり、星が瞬き、やがて夜明けが近づくという現実空間の中にもうひとつの時空間が手のひらの中にも出現してきています。そのもうひとつの時空間の中では、ここではない空間、今ではない時間へ自由に行くことができます。東京藝術大学出身・在学のアーティストたちが「東京藝大アートフェス2021」で制作した作品が「TOKYO GEIDAI ART FES BY AUGMENTED REALITY IN 善通寺」として、あなたの手のひらの中にも現れます。そのもう一つの世界への入り口を善通寺市内の各所に設置しました。あなたのスマートフォンを持って探しに出かけてみてください。また、善通寺市観光交流センターには、あなたの想像力でもうひとつの時空間へ行くことができる作品が設置されています。こちらはあなたの身ひとつでお越しください。お待ちしております。

リアル展示 2021年 11月6日(土)~11月14日(日)



時間 9:00~19:00
(入場は閉館30分前まで)
※11月6日(土)のみ12時より開館

会場 善通寺市観光交流センター

リアルでの作品鑑賞

制作：東京藝術大学美術教育研究室+染織研究室

たくさんの方の手で編まれた巨大漁網作品の展示をします。多くの人に協力してもらって、縄文時代の生活を想像しながら植物の繊維を用いた漁網を編み、将来的に地引網に挑戦するプロジェクトです。漁網づくりのワークショップも開催予定です。
(参加方法 > 展覧会ウェブサイトをご覧ください。)



AR展示 2021年 11月6日(土)~12月26日(日)



時間 各店舗等の営業日・営業時間に準ずる

会場 善通寺市内

AR(拡張現実)での作品鑑賞

ARはAugmented Realityの略語であり、拡張現実と訳されます。実在する風景にバーチャルの視覚情報を重ねて表示することで、目の前の世界を仮想的に拡張することができます。展覧会のウェブサイトにて、スマートフォン専用のアプリケーションをダウンロードして、善通寺市内に設置されているARコードをスマートフォンをかざすと、作品を見ることができます。



ARマーカーにスマートフォンをかざすと、スマートフォンの画面で作品を見ることができます！

善通寺市のマチナカで開催されるリアル&AR展覧会



展覧会ウェブサイト

<https://www.zentsuji-artfes.com>

上記のリンクで検索、または右記載のQRコードでアクセスしてください。



東京藝大アートフェス2021とは

「美術館で絵を展示する、音楽ホールで演奏会を開く、映画館で映像を上映する」といった建物の中で作品を発表するという手段ではなく、美術も音楽も映像もデジタルデータにすることによって、同じプラットフォームで発表できるようになりました。2021年、東京藝術大学では美術、音楽、映像の各研究科の枠を超えてインターネット上で東京藝術大学出身(在学を含む)のアーティストたちの作品を「東京藝大アートフェス2021」として発表いたしました。異なる研究領域が同じ発表の場を共有することによって、互いに横断的に刺激し合うことがこれまで以上に活発になり、新たな表現が生まれてくる大きなきっかけになることを目指しています。



